



# 令和2年度の活動をご紹介

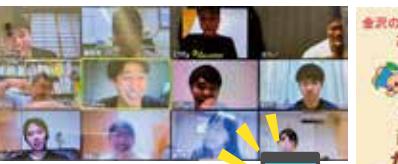
令和2年度はサポーター事業、野外活動指導員養成研修、初年度研修、交流会など、下記のとおり活動を実施しました。

## サポーター事業

センターで自主企画を立案・実施したり、センターでの活動や、施設広報を行いました。

### ①「新大学1年生応援!かなざわフリートーク」

活動期間 令和2年5月27日(水)～7月16日(木)  
(全体ミーティング1回、各弾のリハーサル全6回)  
当日:令和2年6月8日(木)～7月16日(木)  
毎週木曜日19:00～20:00【全6弾】



活動したメンバー 高校生1名、大学生18名

協力 金沢星稟大学 人間科学部 池田幸應 教授、金沢学院大学 人間健康学部 高賢一 特任教授

対象 金沢市内の新大学1年生

概要 「コロナ禍だからこそ自分たちができるること」という想いから、コロナ禍で大学が再開せず、新入生同士や先輩との交流の機会が少ない新大学1年生を元気づけるため、オンラインでのフリートークイベントを考え、全6弾にわたり実行しました。時間を区切しながら進行するよう心がけ、ユースプロジェクトの紹介や自己紹介をした後、テーマごとに話したり、ゲームをしたり、1年生からの質問タイムを設けたり、各弾ごとに工夫しながら取り組みました。

メンバーの感想 リハーサルや前弾の反省点を生かして準備して臨みました。進行役のメンバーが落ち着いた優しい口調で、程よく碎けた雰囲気を作っていて、よかったです。他のメンバーも、チャットを活用したり、話題を広げるため自然に連携し、メンバーみんなで協力して、自分たちも会話やゲームを楽しむことで1年生も楽しんでくれたと思います。

新大学1年生の感想 「緊張しましたが楽しかったです!」Yさん・北陸大学【第1弾参加】  
「短い時間でしたが、悩み相談やゲーム等を通じて、リラックスした時間を過ごせました」Yさん・北陸学院大学【第2弾参加】  
「青少年のこうした活動を初めて知り、面白そうだなと思いました。今日は楽しかったです」Hさん・金沢大学【第3弾参加】

### ②長土堀「絆」交流フェスティバル運営補助

活動期間 令和2年9月30日(水)～11月5日(木)(準備&反省会各1回)  
当日:令和2年10月11日(日)9:00～16:00

活動したメンバー 高校生2名、大学生7名

関わった人たち 長土堀「絆」交流フェスティバル参加団体

概要 長土堀「絆」交流フェスティバルでの総合案内や受付、ガラポン抽選係を交代で担当しました。

メンバーの感想 色々な団体が事前に話し合い、ひとつのイベントを作っていく過程を見て、とても良い経験になりました。はじめは聞き慣れない団体が多く、他の団体の方に話しかけるのに抵抗感がありましたが、各団体の体験コーナーはとても楽しく、何でも挑戦だなと思いました。コロナ対策をしながらのイベントでしたが、とても楽しいフェスティバルになったので成功してよかったです。

### ③センター&ユースプロジェクトPRチラシづくり

活動期間 令和2年11月15日(日)14:00～15:00

活動したメンバー 高校生1名、大学生6名

概要 長土堀青少年交流センターの利用者増加を図るために、新成人配付用のPRチラシを作成しました。またチラシ裏面では、ユースプロジェクトの活動内容の周知やメンバー募集を広報しました。

メンバーの感想 チラシは自分たちが見る側だったときは、特に何も感じていませんでしたが、作る側となると意外と難しく感じました。メンバー皆で案を出し合うのが楽しかったです。各々、修正点を見つけることができたので、良いチラシになったと思います。自分たちでチラシを作り、広報することで、かなざわユースプロジェクトの一員であると実感できました。このチラシを見て、新しいメンバーが増えていけば、活動がもっと充実したものになると思います。

## 初年度研修

活動で役立つ基礎的な知識習得のため、新規メンバー向けに研修を行いました。

### ①ふるさと学講座

活動日 令和2年11月15日(日)13:00～14:00

活動したメンバー 高校生1名、大学生6名

講師 石川県観光スペシャルガイド 香村幸作 氏

概要 城下町金沢の歴史について学びました。

メンバーの感想 今までずっと金沢に住んでいましたが、知らないことが多かったです。金沢の由来や地形など様々な学びがありました。これから他県から来る人に「金沢ってこんなところ」を説明できるようになりたいと思いました。

### 長土堀青少年交流センター



### ②子どもとの接し方講座

活動日 令和2年12月6日(日)13:00～15:30

活動したメンバー 高校生1名、大学生1名、社会人1名

講師 金沢市子ども会連合会 シニア委員

概要 アイスブレイク講座、KYT(危険予知トレーニング)講習、子どもとの接し方講座を受講しました。

メンバーの感想 アイスブレイク講座では、笑顔の大切さを実感しました。子どもに楽しんでもらうためには、スタッフ全員での雰囲気づくりと子どものお手本としてメリハリのある行動が重要だと学べました。KYT講習では、実際の場面を想像することで、安全について具体的に考えることができ、事前準備の重要性も再認識しました。子どもとの接し方では、見習うべき声掛けや講師の方が普段気を付けていること等をお聞きしました。今回学んだことを、これから活動でどんどん使っていきたいです。

### 長土堀青少年交流センター



### ③プレゼンテーション能力UP講座

活動日 令和3年2月20日(土)13:00～14:50

活動したメンバー 大学生6名

講師 フリーアナウンサー 横田幸子 氏

概要 初めてオンラインと対面の併用で講座を開催しました。プレゼンテーションの基礎知識について学び、発声練習・表情筋トレーニングに取り組み、実際にプレゼンテーションを行い、講師から講評をいただきました。

メンバーの感想 講座の中で「プレゼンテーションとは、説得するのではなく納得してもらうもの」という印象に残りました。自分の思いや笑顔、そして自分が楽しそうに話すと、より相手に伝わりやすくなるということをわかりました。自分の経験を具体的に伝えることで、相手も想像しやすいし、理解しやすくなるので、今後のプレゼンテーションの機会で活用していきたいと思います。

### オンライン、長土堀青少年交流センター



## 交流会

### 交流会

活動日 令和2年5月27日(水)(オンラインプレ交流会)

令和2年7月1日(水)(青少年団体とのオンライン交流会)

令和2年11月15日(日)(メンバー顔合わせ交流会)

令和3年2月20日(土)(年間の活動共有の交流会)

活動したメンバー 高校生2名、大学生11名

関わった人たち 青少年団体

概要 メンバー同士の顔合わせやレクリエーションを通して親睦を深める交流会、年間の活動で各自が経験したことや学んだことを共有する交流会のほか、青少年団体との交流会も実施しました。

メンバーの感想 自己紹介をゲーム形式ですることで、盛り上がり緊張がほぐれたのでよかったです。チーム対抗クイズラリーでは、まだ交流したことのないメンバーと交流できました。これからの活動でもっと仲良くなりたいです。

### オンライン、長土堀青少年交流センター



## 野外活動指導員養成研修

主催事業や地域での野外活動を効果的かつ安全に行うために、新たな指導員養成を支援します。

### 基礎編 野外活動のABC講座



### 嵯峨少年の森

活動日 令和2年9月22日(火・祝)9:00～16:00

活動したメンバー 高校生1名、大学生4名 ※一般から野外活動に興味がある社会人7名も参加

講師 金沢自然冒険隊 蛙の会

概要 野外活動の基礎知識を学ぶための講座として、安全管理講習・コンパスワーク・ロープワーク・テントの設営体験・きり体験・火の起こし講座・炭焼き小屋の見学・炭を使ったろ過実験等を実施しました。

メンバーの感想 子どもと一緒に行うアウトドア活動やキャンプの際に、ぜひ活かしたいと思いました。また、安全管理講習で習った内容は、普段の屋外での活動でも意識して行動したいと思います。ロープの結び方も、普段から使えるようになりました。アットホームな雰囲気の中、蛙の会の方からたくさんことを教えていただけたよかったです。



### 実践編 ①親子キャンプ運営補助



### 嵯峨少年の森

活動日 令和2年9月27日(日)9:00～12:00

活動したメンバー 大学生4名

関わった人たち 8家族の親子

概要 親子キャンプの際の「ロープワーク」「炭のろ過実験」「花炭づくり」における補助や、遊具で遊ぶ子どもたちの見守りを行いました。

メンバーの感想 親子キャンプなので、大人から子どもまで幅広い年齢層の方がいる中での活動でしたが、相手の年齢に応じたコミュニケーションの取り方が大切だと感じました。ロープワークは子どもたちがあまり興味を示していないかったので、ゲーム形式にするなど、もう一工夫したらより楽しんでもらえたかもしれません。



### 実践編 ②冬囲い体験



### 嵯峨少年の森

活動日 令和2年11月28日(土)9:00～16:30

活動したメンバー 大学生5名

協力 金沢自然冒険隊 蛙の会

概要 嵯峨少年の森の冬への準備作業「冬囲い体験」等を行いながら、「落ち葉での焼き芋づくり」「葉拓づくり」に挑戦しました。

メンバーの感想 冬囲い体験は、蛙の会の方の熟練の技が素晴らしい、手伝うのが難しかったですが、周りを見て行動することを心掛けました。冬に向けた大テントの片付けは、大変でしたが長身を生かして活躍できました。落ち葉で焼き芋をつかすのは初めてでしたが、コツを教わりながらメンバーと一緒に試行錯誤し、美味しい焼き芋が作されました。また、「葉拓づくり」にも挑戦しましたが、予想以上に楽しめ、天候が悪くても楽しく野外活動できる方法があると学びました。



### 実践編 ③ぶらっと雪遊び運営補助



### キゴ山ふれあい研修センター

活動日 令和3年1月30日(土)8:30～12:00

活動したメンバー 高校生2名、大学生1名

関わった人たち 10家族の親子

概要 受付時の説明や検温を伝わり、「巨大雪だるまづくり」「かまくらづくり」「雪玉ストラックアウト」「スノーチュービング」でスタッフとして活躍しました。

メンバーの感想 初めての雪がある野外イベント、またコロナにも気を付けながらの活動でしたが、自分の成長を感じることができました。初年度研修で学んだ子どもとの接し方、子どもへの安全の注意喚起を実行できました。去年の自分と比べても確実にコミュニケーション能力が上がってきていると感じられたのでよかったです。それでも、子どもに積極的に話しかける段階までは行けていないので、次の活動では自らたくさんの方に話しかけたいです。

